

冬号

平成17年1月1日発行

編集・発行

社会福祉法人 翠祥会
特別養護老人ホーム翠祥園
翠祥園デイサービスセンター
翠祥園在宅介護支援センター
翠祥園居宅介護支援センター

いぬま市久之浜町末新字深谷33番地の1
TEL. 0246 (82) 2877

翠祥園だより



久之浜漁港 撮影：木村芳秀様

新年のごあいさつ



社会福祉法人 翠祥会

理事長 新妻 尚二郎

新年明けましておめでとうございます。
当法人が設置・経営しま

す翠祥園は、地域の皆様方並びに関係各位のご支援・ご指導のお陰を持ちまして、つつがなく十三年目の春を迎えることができました。深く感謝を申し上げます。

さて、本年は公的介護保険制度施行後五年が経過し、二〇〇六年度からの大幅な改訂が決定される年に当ります。既に改訂案の骨子は様々な形で公表されていますが、介護保険の財政難を理由に、サービスの利用制限と自己負担額の増加等による給付抑制策を中心としたものになっております。確かに、介護保険の利用認定者は約四百万人、給付は二〇〇五年

度予算案で約六兆円と、毎年一割程度増え続けております。

介護保険料の値上げを極力抑えながら制度を維持していくためには、ある程度の給付抑制策はやむを得ないと思えますが、介護サービスを真に必要なとされる方に対してまで給付が抑制される改訂であれば、断固として反対していかなければならないと考えております。

翠祥園は、地域社会に信頼される施設を目指して引き続き努力を重ねて参ります。

本年も
よろしく
お願い致
します。



クリスマス会★忘年会

毎年恒例の翠祥園「クリスマス&忘年会」はひと足早く12月16日に開催されました。

クリスマス会恒例行事と言えば職員アトラクションではありますが、今年のアトラクションは例年までの劇や踊りとは一変変わり、ハンドベルに初挑戦。練習の甲斐あって会場にはハンドベルのきれいな音色が鳴り響き利用者の方々も大満足の御様子でした。続いて行なわれました歌謡ショーでは当施設ではなじみの深い「船本いく子様」をお迎えして行われました。次々に唄われる機がしい歌声に利用者の方々も共に口ずさみながら手拍子をし、時には涙する姿も見られ、とても心温まるひとときとなりました。

歌を唄えばお腹はすくもので続いては利用者の方々みんなでケーキ作りが行われました。みなさん自慢の腕をふるって大はりきり、完成したケーキに御満悦の姿みられました。昼食には、豪華ちらし寿司をはじめとしたオードブルの散々がもてなされ、テーブルを囲み利用者のみなさんお腹いっぱい食べられた様で、お腹も心も満たされた、素晴らしい1日を過ごされた様です。



昨年十一月十六日、久之浜第一小学校・第二小学校の児童七十五名・先生六名の皆さんが来園されました。「高齢の方々を敬い、地域社会に奉仕する心と態度を養う」という等を目的とした訪問となりました。

毎年恒例となっており、小学生のボランティアを今年も利用者の皆さんは楽しみにして待つておりました。利用者の方々との交流を目的としたグループ活動では、自己紹介をしながらそれぞれ「お手玉・おはじき・紙芝居・あやとり・折り紙」などを一緒に楽しむことができました。

皆さんそれぞれできてきな「プレゼント」をいただき、ありがとうございました。最後に全員で「もみじ」を歌い、終わりの言葉をいって終了となりました。利用者の皆さんも本当に楽しいひとときを過ごすことができました。

ありがとうございました。

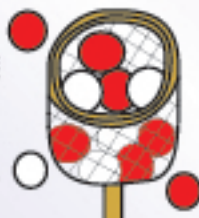
小学生ボランティア

スポーツ大会



11月25日「翠祥園秋季スポーツ大会」が行われました。食堂、多目的ホールと2会場に紅白と班分けし今回新しい種目を取り入れて行われ、多種目に参加された利用者の方々の顔つきは普段とは違う顔つきで生き生きと輝きに満ちており、大変楽しんでる姿が印象的でした。最後までケガ等なく無事に終える事も出来たので良かったです。と思いました。

次回も新しい種目をどんどん取り入れて楽しく盛り上げて行きたいと思います。



もちつき会

12月28日、毎年恒例となっております「もちつき会」が行なわれました。

会場となった食堂では利用者の皆さんが見守る中、「きね」をつく職員と「こね手」との息もぴったりで、なかなかどうしてとても美味しいお餅に仕上がりました。やはりあんこ餅が一番人気のようでした。

お昼にはつきたてのお餅を皆さんにいただき、利用者の方々も大満足の様子で1年の締めくくりとなりました。



久之浜保育所慰問

「いつまでもお元気だね。」

昨年12月8日、久之浜保育所の皆さんが慰問に来て下さりお遊戯や歌などたくさん披露して頂きました。

毎年恒例となっておりますが、今年も利用者の皆さん楽しみに待っていた様子で保育所の皆さんのあいさつが始まると、涙を流す利用者の方もいました。「忍者ハットリくん・きよしのトドンパ・魔法使いサリー・白虎隊」など、曲に合わせてのかわいらしい演技を披露して頂きました。最後に保育所の皆さんから「いつまでもお元気だね」と、手作りのプレゼントを握手を交わしながら頂き終了となりました。ありがとうございました。



テイサービスから こんにちは

「もっと上」「ちょっと右だ」旬の声だかおわかりですか？久し振りに、テイサービスに響く利用者の皆さんの笑い声レクリエーションの「ふく笑い」のひとつです。テイサービスでは、午後の時間に軽体操や制作活動など利用者の皆さんに好評なもののやちょっと不評なものまで様々なレクリエーションを行なっております。レクリエーションという言葉は「つくる」と「再び」がついたもので「再びつくる、つまり「作り直す」という意味です。人間について言えば、疲労から元気を回復すること「元気回復」となる訳です。自分を元気にするのですから、出来なくたって、分がらなくたっていいんです。思っきり体を動かして、おなかの底から声を出して笑って下さい。

「笑う門には福来たる」

今年も、利用者の皆様と、健康で楽しい時間を過ごせるテイサービスセンターを目標に職員一同がんばりますのでよろしくお願い致します。



ご自身の描かれた作品を定期的に入れ替え展示いただいております。



広野町 佐藤安子様

「遊 鶏」

感謝！車椅子寄贈

この度、第一生命労働組合福島営業職支部の石田孝一書記長、登坂貴俊様、馬上郁子様が来園し、アルミ製車椅子1台のご寄贈を賜りました。

第一生命労働組合の皆様のご善意による募金で購入された車椅子を、翠祥園入所者を代表して川島幸五さんが感謝の言葉と共に拝受致しました。

有効に、そして大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



日頃、当施設のショートステイ(短期入所生活介護)をご利用して頂きまして有難うございます。当施設のショートステイは、いわき市全域の方々をはじめ広野町・楡葉町在住の世介護・世支援の方々にご利用して頂いております。入所される約百八十名の方々と一緒に約百名規模の大所帯ではありますが、一人一人の家庭での生活様式に合わせて日常生活を送れるよう常にご家族様と各担当のケアマネージャーさんとの情報交換を大切にしていきたくと思っております。ご利用に際してご要望等ありましたらご遠慮なくお申し出下さい。今後ともよろしくお願い致します。



ショートステイのご案内

新年あけましておめでとう

多数の個人や団体の方々より様々な物品やご好意をいただき職員一同心より感謝いたしております。ありがとうございます。

○小原流家元教授
新妻香陽(ヨシ子)様

○渡辺キクイ様

○内藤 恒敏様(モチ米)

○石井生花店(シクラメン)

(順不同)

編集後記

新年あけましておめでとうでございます。

今回は昨年最後の行事となりましてクリスマス＆忘年会、スポーツ大会、もちつき会を取り上げてみました。いかがでしたでしょうか。今年もたくさんの方々の利用者の皆さんの笑顔と共に届けたいと思いますのでよろしくお願い致します。

今年も良い年でありましてありがとうございます。

